

10/7 ライオンズクラブと沼田自動車学校 交通安全街頭啓発

10月7日（木）沼田ライオンズクラブ（富田茂将会長）と沼田自動車学校（宮脇浩三校長）が共同で交通安全街頭啓発活動を沼田小学校前の国道275号線で行いました。

昨年同様、コロナウィルス感染拡大防止の観点から車への呼びかけのみとしましたが、参加した22名は一人ひとり交通安全の黄色い旗を振り、往来する車に安全運動を呼びかけました。



10/12 安心安全な町づくりの継続 防犯カメラの運用に関する協定式

安心安全な暮らしのため、町が防犯カメラを設置することをきっかけに、深川警察署と防犯カメラの運用に関する協定を10月12日（火）に締結しました。

今回設置する防犯カメラは5台で、本通り3丁目から小中学校付近に設置され、12月1日より運用開始となります。

協定式で横山町長は「行政区や道路管理者等にご理解いただき設置に至ったことに御礼申し上げます。カメラは、犯罪を見つけるだけでなく、抑止する効果もあり、より安心な生活を送ることができます。」と述べました。

また、深川警察署の坂本則夫署長からは「本日の協定の締結によって、沼田町と深川警察署の連携が整いました。これもひとえに、町の高い防犯意識の証であり、今後も様々な面で良い関係を築いていきたい。」と述べられました。



10/15 来年こそはリアルに交流を ポートハーディとのオンライン交流

本町と姉妹都市であるカナダのポートハーディとのオンライン交流が、生涯学習センター「ゆめっくる」で行われました。

この日は、国際交流協会の西尾昌浩代表と高田勲副代表、横山町長、通訳で筒井さんの4人が参加し、ポートハーディからはデューガス町長、姉妹都市委員長のレスリーさんが参加しました。

自己紹介の後、レスリーさんから「コロナで一時交流が途絶えましたが、負けずにこれからも続けていきたい。」と話され、横山町長は「コロナでいろいろな事が変わりましたが、より絆を強め来年は現地でお会いしたい。また、3年後は交流30周年を迎えますので、今後もより一層友好を深めたい。」と述べ、再び両者が再会することを誓い交流会を終えました。



16 沼田小学校学習発表会

沼田小学校（中川浩之校長）の学習発表会が、新型コロナウイルスの感染対策を考慮して、低・中・高学年の3ブロックに分けて開催されました。

今年のテーマは「みんなで心をつなげて最高の学習発表会にしよう！」です。

はじめに1年生全員で、「今日は皆さんお越し下さりありがとうございます。いっぱい練習した、歌や踊りを見て頂き、たくさんの拍手をお願いします。」と元気に挨拶があり、各学年による発表に入りました。

終わりには、全学年を代表して児童会長の井上礼唯さんが「あと半年の小学校生活の中で、もっと仲間との絆を深めたい。本日はお越し頂きありがとうございました。」と謝辞を述べました。



▲ 1年生 – 本物そっくりなステージで、懐かしい曲でのダンスが披露され、みんなしっかり練習されている事がわかります。



▲ 2年生 – 子ども達の表情がとても豊かで楽しい劇でした。最後に泥棒達が刑務所とは知らず入るところが面白い劇でした。



▲ 3年生 – 音楽に合わせて、みんなで縄跳びやダンスを発表しました。ステージの垂れ幕も顔写真入りで力作です。



▲ 4年生 – 誰でも、さぼりたくなる時はあるけど、努力が大事だと言う事が題材の劇で、みんな本当に演技が上手でした。



▲ 5年生 – 2グループに分かれてダンスの披露の後、全員でのダンスですが、最後にペンライトを使ってのパフォーマンスが鮮やかでした。



▲ 6年生 – 戦争を知らない子たちが、自分なりに中身を理解し演じました。大人にも家族と平和について考えさせられる見事な劇でした。

10/20 図書カードうれしいね きたしん異業種交流会アクセスからプレゼント

北空知の企業経営者らでつくる「きたしん異業種交流会アクセス（廣野辰也代表幹事）」から小学生全員に図書カード千円分が贈られました。

これは、アクセス創立20年を迎えた昨年はコロナ禍で記念事業が実施できなかったため、今回改めて事業を実施したものです。

廣野代表幹事から図書カードを受け取った横山町長は「コロナ禍で子ども達もなかなか事業などが出来ない中、大変あたたかい取り組みに感謝申し上げます」と感謝を述べました。



体験

子ども達に夢と沼田の魅力を

沼田っ子の夢応援（合宿通学）

10月20日（水）から23日（土）の間、宿泊交流センター「夢未来」で、小学5年生11名が参加し「沼田っ子の夢応援事業（合宿通学）」がおこなわれました。

この事業は、子ども達が施設に泊まりながら、友達との仲間づくりを深めたり、沼田町を深く知って地元愛を育む事をねらいとしています。

2日目の地域の方の講話では、夜高あんどん師の三浦実希さんから「あんどん祭りは、伝統を守りつつ新しさも追求してきました。皆さんの生活の中

でも嫌な事や難しい事に対し、どうやれば対処できるか常に考え、より良い環境を作って下さい。そのためには自分を、そして周りの人を好きになって下さい。」と話されました。ホワイトボードにあんどん牡丹の絵を書いて頂き、次々と描かれる見事な牡丹に子ども達は魅了されていました。



10/23 たくさんの催しで盛り上がりました 沼田町にぎわい活性化イベント 2021

まちなかのにぎわい創出のため「沼田町にぎわい活性化イベント2021」が、10月23日（土）J A北いぶき沼田青年部等の協力で行われました。

暮らしの安心センターでは、包括連携協定を結んでいる㈱カネカブース等が設けられ景品がもらえるクイズラリーが行われました。

まちなかほっとタウン会場では、日本ハムファイターズのファイターズガールとフレップのステージショーが行われ、1階ホールでは新米すくい取りコーナーも設けられるなど、各ブースは大きな盛り上がりを見せていました。

また天候にも恵まれたおかげで、キッチンカーなど8店舗が出店したテイクアウトブースは、行列となっていました。



10/29 久々に多くの人の声が響きました 29 まちなか賑わい夕市&まちなか屋台

沼田町商工会主催の、まちなか賑わい夕市&まちなか屋台が10月29日（金）、本通り3丁目の特設会場にて開催されました。

会場には、産直野菜や海産物、お惣菜、お米のドン、観葉植物、手作り雑貨など各商店やコストコ屋台の他、空き缶・空き瓶などの廃品回収も行われ、たくさんの方々が夕市会場に訪れ、大いに賑わいを見せていました。

また、お買い上げ後には補助券が進呈され、抽選会場で新米や商品券などが当たるなど、来場した方々は、たくさんの買い物袋と景品を持ち帰っていました。



10/30 みんなの力でドーム完成しました 30 DANDANDOME in NUMATA

DANDANDOME in NUMATA（ダンドーム・イン・ぬまた）が、ほたる学習館周辺で開催されました。

これは、南極観測隊越冬隊やアメリカで模擬火星生活実験の隊長をされた、極地建築家の村上祐資氏をお招きし、段ボールによるDANDANDOME（ダンドーム）を組み立てるものです。

作製には町内外から18名が集まり、村上講師が見守る中、設計図を頼りに参加者同士で相談しながら約6時間かけて作り上げました。

ドームは高さ3m、幅3.6mにもなり今後、森のようちえんや、冬期間の耐久性についても調べる予定です。



11/3 沼田羊を堪能 3 長野修平アウトドア焚火クッキング

ほたる学習館周辺の森で、アウトドア焚き火クッキングが14名の参加者で行われました。

講師には、テレビや雑誌等でたくさんの野外料理の紹介もしている長野修平氏を迎え、羊の肉を使い、5種類の料理を作りました。

今回用意した羊は、7月からほたる学習館周辺で飼育され、沼田のトマトジュースの生産過程で出される残渣や「もみ殻」、温泉水を餌に育てられた羊です。

参加者は、「沼田羊は淡白で臭みも無く美味しい。」と感想を話し、料理を堪能していました。

